

今後の進め方(案)

令和4年1月31日

土岐川・庄内川流域治水協議会



みんなでももる土岐川・庄内川



今後の進め方(案)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

令和2年度

3月25日

～第5回 協議会

○「庄内川水系流域治水プロジェクト」とりまとめ

令和3年度

7月2日

第6回 協議会

○防災まちづくりに関する取組報告
○グリーンインフラの観点の追加確認
○ロゴマーク作成、シンポジウム開催の決定

10月21日

第7回 協議会

○新規参画構成員（名古屋・岐阜地方气象台）、
オブザーバー（JR東海、環境省）の取組共有

11月20日 シンポジウム開催

1月31日

第8回 協議会

○シンポジウムの開催報告
○ロゴマーク使用規程の確認
○流域治水プロジェクトに基づく取組の「見える化」(案)の提示

※詳細は別紙参照

3月3日
(予定)

第9回 協議会

○流域治水プロジェクトの実施状況フォローアップ
○グリーンインフラの取り組みを加速化
○流域治水プロジェクトに基づく取組の「見える化」

令和4年度

第10回～ 協議会

○流域治水プロジェクトの実施状況フォローアップ
○必要に応じて、対策の追加等見直しを実施

- 令和3年3月末に全国109の全ての一級水系で策定・公表された「流域治水プロジェクト」に基づき、河川改修事業・ダム事業や地元自治体や流域関係者が連携して取り組む多層的な流域治水対策が全国各地で着実に実施されています。
- 令和3年度の流域治水プロジェクトに基づく取組を「見える化」することにより、事業の着実な推進を図るとともに、施策の横展開により流域治水の裾野を広げ、地域の安心・安全を確保してまいります。

令和3年3月30日

全国109の全ての一級水系で「流域治水プロジェクト」を公表

令和4年3月末

令和3年度内の一級水系の各プロジェクトの取組を「見える化」

流域治水の根幹を支える
河川改修事業やダム事業の加速化

事業効果・進捗の見える化

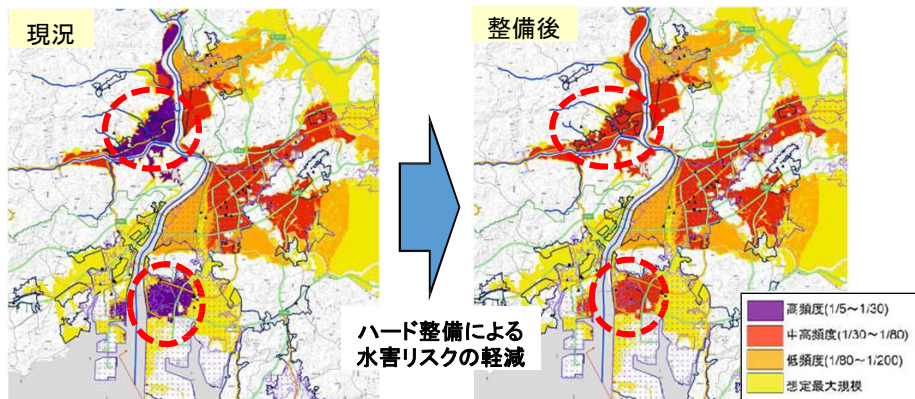
全国109の全ての一級水系で、外水氾濫※を対象とした河川改修事業等による効果を公表

※国直轄区間における河川事業・ダム事業のみを対象

※現況河道及び当面整備(概ね5か年)後のみ

降雨確率(10年に1度、100年に1度など)に応じた浸水範囲を重ねることにより現在の浸水リスクを示すとともに、戦後最大洪水等に対応した河川整備の進捗状況に応じた浸水範囲の変化を可視化し将来のリスクも提示することにより、河川整備の効果を「見える化」し、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりを推進

※令和4年度以降も引き続き内水を考慮するなど、水害リスク情報を追加・充実



整備効果の見える化のイメージ

あらゆる関係者の協働により、ハード・ソフト対策を推進

あらゆる関係者の協働による
ハード・ソフト一体となった事前防災対策の推進

指標を活用した流域治水プロジェクトの更なる推進

全国109の全ての一級水系でハード・ソフト各々の主要な取組の進捗を公表

流域治水のもと、あらゆる関係者の協働による事前防災対策の取組状況を「見える化」することにより地域が抱える諸課題に対し、先行事例を踏まえての更なる検討の促進や対策の充実を図る。

～流域治水プロジェクトに関する主な指標～



※現時点の案であり、今後変更となる可能性がある。